

**結果のまとめ**

平成20年度学校評価  
『教育活動アンケート』

生 徒

保 護 者

地 域 社 会

宮城県石巻商業高等学校  
〒986-0031 石巻市南境字大樋 20 番地  
電話(0225)22-9188  
Fax(0225)22-9189  
<http://www.sekisyo.myswan.ne.jp>

# 平成20年度学校評価 『教育活動アンケート分析結果』

## はじめに

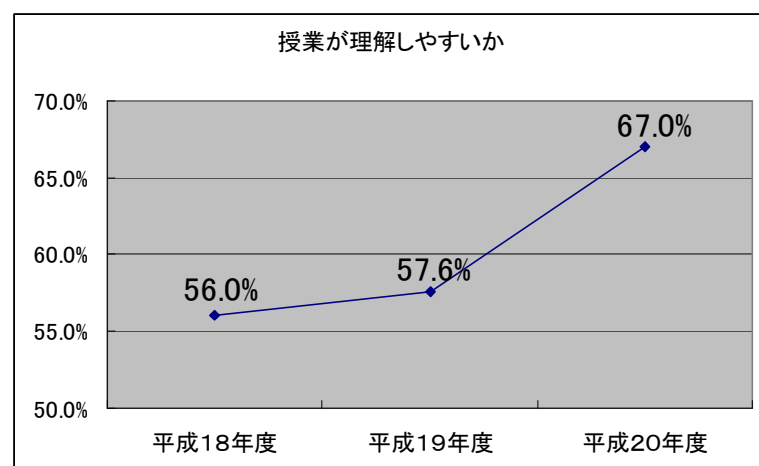
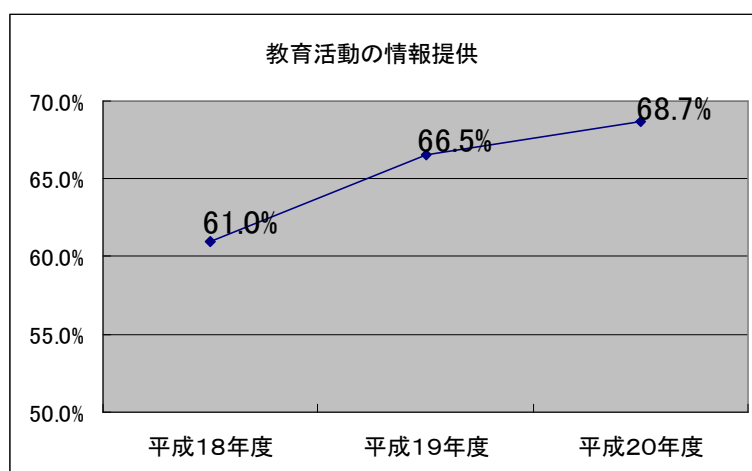
今年度も「学校評価に関するアンケート」にご協力頂きありがとうございました。本校では、よりよい学校づくりを目指しアンケート結果を踏まえて改善に努めています。

本年度は、男女共学・総合ビジネス科への学科改編及び石巻専修大学との高大接続研究事業を締結してから3年目という節目の年を迎えました。さらに、生徒がよりよい教育環境で進路実現や諸活動の目標が達成できるよう「石巻商業高等学校の将来展望（イメージ図）」を作成しました。本校は、今後も魅力ある学校づくりのため変革し続けます。

## 学習指導について

本校では、生徒の希望進路を実現するために次のような教育活動を実施しています。一年時は、授業の中で、二年生から実施される進路希望に応じた類型（コース）について理解を深めます。次に、生徒一人ひとりが進路希望をかなえられるよう学習内容を組み立て、職員はそれを全力でバックアップしていきます。学習指導については、これらのしくみが円滑に行われているかを調査しました。

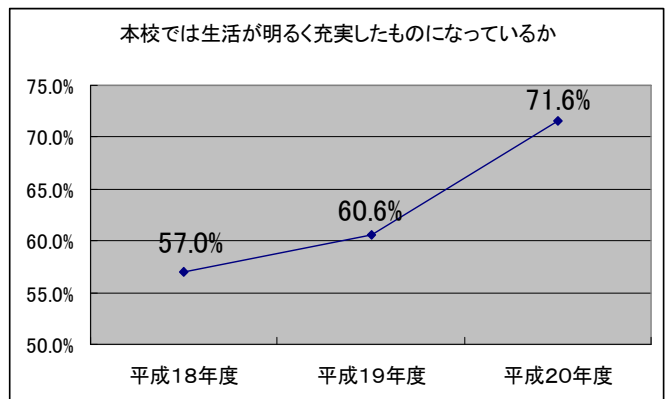
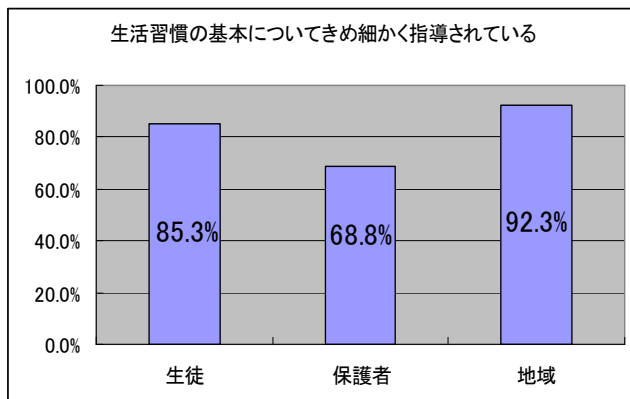
「教育活動の情報提供について」の生徒の評価は、肯定的評価が平成18年度に61%、平成19年度は66.6%、今年度が68.7%と順調に上がってきています。これは、授業内容をまとめた「シラバス」の内容や表記を工夫したこと。一年生においてもその内容を説明する時間を十分に確保したことがこの評価につながっているようです。また、その他の学習指導に関する評価も同様に肯定的評価が上昇しています。特に、「授業が理解しやすいか」という質問に関しては、平成18年度が



56.0%、平成19年度が57.7%、今年度が67.0%と推移し昨年度から10%も向上しています。これらのアンケートの結果から、学習支援システムの改善と生徒の意識向上が伺えます。

## 生徒指導について

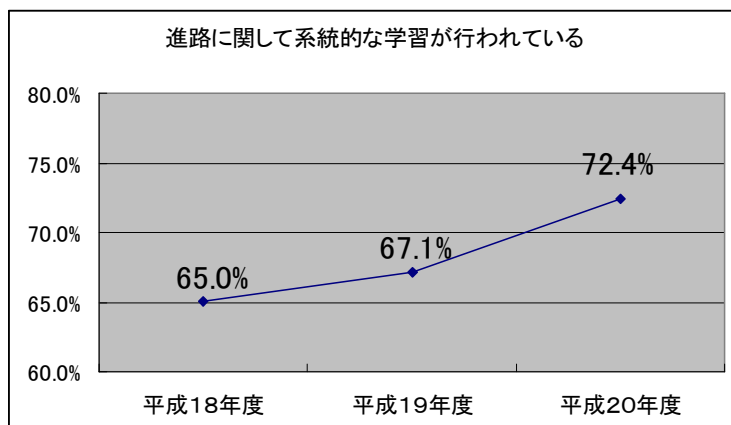
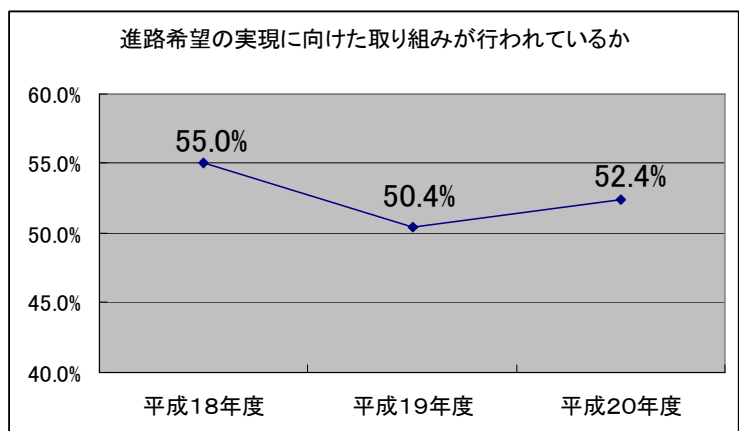
生徒指導に関しては、「生活習慣の基本について、きめ細やかに指導されていると思いますか」という質問に対しては、生徒 85.3%・保護者 68.8%・地域 92.3%と、すべての解答者区分において昨年度を上回っています。また、「本校では生活が明るく充実したものになっていると思いますか」という質問項目では、過去3年間にわたり約10%ずつ上昇し今年度は71.6%にまで到達しました。これは、社会生活に必要な自主・自立の精神の大切さを意識する機会を設けたり、毎月、月間の皆勤者を表彰し、称えたことにより、心に余裕が生まれ、このような評価につながり、さらに、全ての評価を底上げしたものと考えられます。



## 進路指導について

本校では、家庭・地域との連携を深めながら進路指導を進めています。また、進路指導部ではいち早く職場開拓や進学対策にあたり、生徒が積極的に進路意識を持ち行動できるよう、様々な場面で情報を提供しています。これらは、石巻専修大学との高大接続研究事業の効果も大きく、生徒がより身近に将来を感じ取っていることが伺えます。

今年度3月中旬、3年生の進路決定率は就職93.8%、公務員が66.7%、四年制大学・短期大学97.7%、専門学校98.1%であり、全体進路決定率は96.3%となっています。今年度12月末時点の全国就職内定率は82.3%、宮城県では75.1%といずれも昨年度を下回りました。本校では、現時点においていずれの内定率も上回っています。このように高い進路決定率を保つことが出来ているのは、地域と連携して行われている進路支援推進委員会の方々のご理解とご支援のおかげであり、深く感謝申し上げます。これらのことは、アンケートの結果にも表れており、生徒の進路意識が向上しています。



## その他について

「将来の心の礎」を形成しようと、平成16年度から朝読書の時間をもうけました。「朝の読書は充実した時間になっていますか」の質問では、肯定的評価が17年度から46.6%、54.0%、62.0%、81.9%と年を追うごとに大きな数値となっております。これは、生徒を中心とした朝の読書委員会が読書を促すために「朝読書だより」を発行したり、朝読書用の書籍を用意するなど、地道な活動が実を結んだ結果でした。

石巻専修大学との連携（生徒が大学の単位を取得できる取り組み）についての関心は、生徒が「大学の授業体験」、保護者が「進路選択の動機付け」、地域が「地域経済に貢献できる人材の育成」となっていることが昨年度からの分析結果からわかってきています。そこで、本校では、これらのキーワードをつなぎ合わせる輪（システム）の構築に力を注いでまいりました。今年度は、石巻専修大学のご協力のもと受講科目を大幅に増やしました。また、来年度から石巻専修大学で実施される「税理士・公認会計士養成講座」にも在学中に、参加することが可能となります。

今後ますますこの3つのキーワードを強固なものとするために全力で取り組みたいと思いますので、ご理解とご支援のほどをよろしくお願いいたします。

